

・ 今月のピックアップ ・

『コズミック・ガール』

かつて快拳をなしとげ、伝説となった東新宿高校・定時制科学部。しかしその6年後、顧問教師の藤竹は去り、科学部は消滅していた。日本屈指の進学校を退学して転入してきた佐那は、自分の「欠けた部分」を満たすため、「科学部」を再始動。画期的な「ロケット」の開発に着手する！

(出版社紹介より記載)

カルチャープラザ仁多図書室

「君の不在の夜を歩く」 窪美澄 著

「ふつうの家族」 辻堂ゆめ 著

「百年の挽歌」 青木理 著

「松本清張の昭和」 酒井信 著

「パンダのおさじとぱんだっこちゃん」 柴田ケイコ 著

「あやとり大図鑑」 福田けい 監修

「朝日ジュニア学習年鑑 2026」 朝日新聞出版 編

7月の休室日

月曜日、祝日、  
月末休室(31日)

横田コミュニティセンター図書室

「謎の香りはパン屋から2」 土屋うさぎ 著

「俺の恋バナを聞いてくれ」 新川帆立 著

「明治のナイチンゲール大関和物語」 田中ひかる 著

「わかりやすい戸籍の見方・読み方・とり方」 伊波喜一郎 共著

「まゆとごちそう春夏秋冬」 富安陽子 著

「それからぼくはひとり歩く」 アリシア・モリーナ 著

「まこちゃんとコトバロボ」 村上しいこ 作

7月の休室日

日曜日、祝日



いづものくに  
出雲國たたら風土記

～鉄づくり千年が生んだ物語～

日本遺産に認定されてから10周年を迎えます。

◆鉄づくり千年の歴史

733年に編集された『出雲国風土記』の中で、「鐵(まがね)」についての記録があります。「(仁多郡の)もろもろの郷から産出する鐵は堅く、種々の道具を造るのに最適」などの記録から、8世紀の初めには、すでに鉄づくりの拠点となっていたことがわかります。

以降、様々な改良が加えられながら発展していった製鉄技術は、1727年に松江藩で定められた「鉄方御法式(てつかたごほうしき)」という保護政策により、明治の初めまでは安定した経営が続きました。江戸時代末期の最盛期には全国の鉄生産量の8割以上を中国地方の鉄が占めたといわれています。

ところが、明治に入り価格の安い洋鉄の輸入が始まると、たたら製鉄は衰退していきます。第二次世界大戦中に一時的に操業されたものの、終戦とともに途絶えてしまいました。しかし、世界に誇る日本刀づくりの技術を受け継いでいくため、1977年、日本美術刀剣保存協会が「日刀保たたら」としてたたら製鉄を復元します。以降、現在に至るまでたたら製鉄による鉄の生産がこの地域で続けられています。



(公財)日本美術刀剣保存協会